

## 第129回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年4月28日（木）16:00～16:17
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

- (1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について
- (2) 大型連休中の臨時無料検査場の設置について
- (3) 自宅療養者への支援の充実について

(保健福祉部長)

4ページ、資料1をお願いします。

### 【資料1】

4月27日現在の療養者の状況です。

入院者が252人、うち重症者が2人、療養者数は、合計で5,286人となっております。

次に、6ページです。

新規陽性者の状況です。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は194.09人で、今週に入ってから、一旦増加したものの、減少に転じており、今月5日以来、22日ぶりに200人を下回りました。

次に、8ページです。

病床使用率は33.9%で、今週に入ってから、30%台が続いております。

次に、10ページです。

人口10万人当たりの療養者数です。

288.36人で、200人台後半で増減を繰り返しております。

次に、13ページです。

特に感染が拡大している6市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

須賀川市は、7日連続で300人を超えております。

会津若松市は、今週は2日間、300人を超えておりました。

郡山市は、減少傾向にあり、昨日、今月4日以来、23日ぶりに300人を下回りました。

いわき市は、減少傾向にあるものの、200人を超えております。

相馬市は、8日連続で増加し、200人を超えました。

次に、14ページです。

今ほどの6市を除く各市における、人口10万人当たりの直近1週間の新規陽性者数です。

本宮市、喜多方市及び福島市は、増減を繰り返しているものの、いずれも100人を上回っております。

伊達市が、新たに100人を超えました。

白河市及び田村市は、引き続き100人を下回っております。

次に、15ページです。

モニタリング指標、「入院率」(4.8%)、

「人口10万人当たりの療養者数」(288.36人)、「PCR陽性率」(17.3%)、

「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(194.09人)が、レベル3、

「病床の使用率」(33.9%)、「感染経路不明者の割合」(60.7%)が、レベル2、

「重症者用の病床使用率」(4.3%)が、レベル1となっております。

次に、17ページ、資料3をお願いします。

#### 【資料3】

大型連休中の臨時無料検査場の設置についてです。

明日4月29日から5月8日まで、JR福島駅西口広場において臨時の無料検査場を設置いたします。

検査の種類は、抗原定性検査で、1人15分程度で結果が判明いたします。

感染不安のある県民の方や、これから帰省される方、御高齢の御家族等と面会される予定がある方などに、無料検査の利用を呼びかけてまいります。

次に、18ページ、資料4をお願いします。

#### 【資料4】

自宅療養者の健康観察について、本日より、新たに「フォローアップセンター」を立ち上げ、運用を開始いたしましたので御報告いたします。

感染者数が高止まりを続け、対応が長期化している現在、保健所では自宅療養者の対応が増えておりますが、多くは軽症で推移しております。

こうした状況を受け、重症化リスクの低い自宅療養者については、「フォローアップセンター」を新たに立ち上げ、外部委託により対応してまいります。

国のシステムを活用した効率的な健康観察や、看護師が常駐する24時間の相談体制、症状

変化時の保健所との連携により、県内全域の自宅療養者について、きめ細かな対応をとってまいります。

保健所は重症化リスクの高い方へ重点的に対応できる体制をとることとし、状況に応じた適切な療養支援体制の維持を図ってまいります。

説明は、以上です。

#### (4) 新型コロナワクチンの接種状況について

(病院局長)

19ページ、資料5をご覧ください。

##### 【資料5】

1 接種実績につきましては、4月26日時点で、3回目接種の回数が、1,050,105回、全人口に対する接種率は56.4%となっております。

資料右側の囲みの部分、想定される4月末累計の対象者、約116万人に対する接種率は90.5%となっております。

表の下の部分をご覧ください。首相官邸ホームページで25日に公表された3回目接種の年齢階級別接種率の実績の抜粋になります。全国と本県での比較では、50歳代と80歳代を除き、本県は全国を上回っております。

なお、若年層の接種率が低い状態にあります。これはまだ接種の順番を迎えていないということで、順番を迎えている20歳以上の若年層の接種率は8割を超えている状況となっております。

また、12歳から19歳の年齢階級では、他の年齢に比べ接種率が全国・本県ともに低い状況です。これは、12歳以上17歳以下の3回目接種が、先月3月25日からになったということが要因と考えております。

次のページ、20ページをご覧ください。

県民の皆様へ、新型コロナワクチン接種に関するお願いになります。

県内においては、ご家庭や児童施設、保育施設、学校等での子どもさんへの感染がなかなか収まらない状況となっております。ワクチンの接種と「うつさない」「うつらない」行動をお願いいたします。

先ほどの説明のとおり、12歳以上17歳以下の方も追加接種（3回目接種）ができるようになっております。3回目接種により、オミクロン株感染に対する発症予防効果

や入院予防効果が回復するとされております。接種の順番を迎えられた2回目接種から6か月を経過した方は、できるだけ早めに3回目のワクチン接種をお願いします。

また、5歳以上11歳以下のお子さんの接種も実施しています。この連休の機会に、ご家庭で話し合うなど、接種についてご検討ください。県では、「福島県新型コロナワクチン子ども相談窓口」を設置し、保護者の方からのワクチン接種に関する相談に看護師が対応しております。連休中も朝9時から夜8時まで、毎日対応しております。是非御利用いただきたいと考えております。

最後に、資料はございませんが、最近間違い接種の発生が続いております。このため、県独自に作成している「間違い接種事例集」を改訂し、市町村をはじめ関係機関に注意喚起をいたしましたのでご報告をいたします。

説明は以上になります。

## (5) その他

(金光教授)

先だって、福島県内の陽性者が累計で5万人を突破しました。

5万人と聞くと、「すごく多い」と思いますが、福島県全体で考えると、5万人は3%に満たない数字であります。

逆に言うと、単純計算で97%以上の方が、この病気にかかる可能性があるということで、やはり継続した感染対策が必要であるということがうかがい知れると思います。

もう一つは、明日から連休に入りますが、既に御予定を入れている方も多くいらっしゃると思います。

ぜひ感染リスクを下げた状態で楽しんでいただければと思いますが、一方、医療機関は連休中、手薄になります。

もし何かあったときに受診ができる施設が少ないとか、受診するまでに少し時間がかかるというような可能性があります。

ぜひ体調に変化などがあった場合は、早め早めの対応をお願いしたい。

「症状があったけど放置した」ということがないように、県民の皆様をお願い申し上げます。

(知事)

**【はじめに】**

はじめに、県民の皆さんの命と健康を守るため、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力をいただいている医療関係者の皆さん、そして、大型連休中も引き続き御対応いただく皆さんに、心から敬意と感謝の意を表します。

感染拡大防止のため、日々御協力を頂いている、県民の皆さん、そして事業者の皆さんに重ねて御礼を申し上げます。

**【現状認識】**

全国では、1日当たりの新規陽性者数が、4万人前後で高止まりの状況にありますが、大都市圏を中心として減少傾向にある一方で、増加に転じている地域も見られるなど、地域によって新規陽性者数の傾向に差が生じています。

福島県における新規陽性者数は、今月中旬以降、前の週の同じ曜日を下回る日が多くなっており、減少傾向が見られますが、依然として高止まりが続いている状況にあります。新規陽性者数の累計は、今月7日に4万人を超えてから、わずか19日間で1万人増加し、現在は5万人を超えました。

また、月別の新規陽性者数も、過去最多であった先月を超え、4か月連続で最多を更新し、月別のクラスター発生件数についても、過去最多となる100件を超えるなど、正に予断を許さない状況にあります。

**【感染拡大防止重点対策及び「大型連休中に気をつけたい感染リスク」について】**

そのような中、明日から大型連休を迎えることとなります。現在、本県では、県全域を対象とした「感染拡大防止重点対策」を、来月15日まで延長し、感染対策の徹底を呼び掛けています。

これから旅行や帰省、行楽、イベントなどの移動や外出の機会が増えることが予想されます。人の動きが活発になることで、感染拡大のリスクも高まることが懸念されますので、旅行などの移動や外出に際しては、移動先の感染情報などを十分把握の上、慎重な御判断を重ねてお願いいたします。

昨年の大型連休の際に、普段お会いにならない御親戚等との集まりや御家族、御友人とのお出かけがきっかけとなって、感染した事例がありましたので、御報告します。

1つ目は、県外から御親族が帰省された際に、十数人でバーベキューを行い、6人が感

染した事例です。咳の症状が見られた方が、感染を疑わずに参加していたことで感染が広まってしまいました。

少しでも症状のある場合は、外出を控え、かかりつけ医等に相談し、早めの受診をお願いします。

2つ目は、知人の方4人で連休中にゴルフをして、3人が感染した事例です。ゴルフ場に行くまでの間、同じ車内で長時間、密の状態にあったことが、感染の要因の一つと思われます。

移動先だけでなく、移動中においても感染リスクがあることに注意してください。

昨年の大型連休中に見られた二つの事例について御紹介しましたが、今年に入ってから、子供たちのスポーツクラブや児童クラブなどでの活動中に感染した事例が多く見受けられます。

大型連休中は、旅行やレジャー等での移動が増え、御家族、御友人と過ごす時間が長くなるほか、各種のイベントや行事等への参加機会も増えることと思います。

普段の生活とは異なる状況の中で、ちょっとした気の緩みや、ほんの少しの油断が生じることにより、感染拡大に繋がる場合がありますので、大型連休を楽しく過ごしていただくためにも、気を緩めることなく、正しいマスクの着用や手洗い、換気などの基本的な感染防止対策の徹底と再点検を重ねてをお願いします。

また、県内には、連休中も無料で抗原定性検査等を受けることのできる窓口があります。御自身と大切な方を守るため、御活用いただきたいと思います。

#### 【会議総括】

急速に置き換わりが進んでいるオミクロン株B A. 2系統は、従来よりも短時間で爆発的に感染が広まる恐れがあります。この第7波をできる限り低く抑え込んでいくためには、県民の皆さん、事業者の皆さんと一致団結して取り組んでいく必要があります。

県としても、「ここで第7波を何としても抑え込む」との強い決意の下、感染症対策と県民の皆さんの日常生活、社会活動・経済活動の両立を図っていくことができるよう、全力で取り組んでまいります。

各部局、各地方本部、各保健所においては、大型連休中も、引き続き、強い危機意識を持って、県民の皆さんの命と健康を守るため、迅速・的確な対応を進めてください。